



磐二小だより

磐梯町立磐梯第二小学校
令和5年10月13日
第16号
発行責任者 近野 典男

☆教育目標「自己を拓き、共に生きる、健康で品性の高い子ども」

○自分から学びます ○共に磨きます ○互いに鍛えます

【スローガン】キラキラとひとみが輝く二小の子ども

大成功！生き生きフェスティバル

10月7日（土）に実施しました生き生きフェスティバルには、たくさんの保護者・地域の皆様にご来場いただき、ありがとうございました。あたたかな反応と大きな拍手で応援していただき、大成功の生き生きフェスティバルとなりました。

どの学年も一人一人が活躍し、二小の子どもたちの元気よさ、明るさ、素直さなどをたくさん感じる事ができた発表になっていたと思います。緊張する中でもがんばって一生懸命に表現する姿を見てジーンとしました。きっとこの気持ちはご覧になっていたたくさんの方々が共感してくださるのではないのでしょうか。

昨年度まで在職していた職員も、成長に驚きながら、「さすが二小の子どもたちですね」と、嬉しそうに感想を述べていました。



こうしてすばらしい発表の場にできましたのは、事前の準備から当日の応援まで、あたたかくご理解・ご支援くださった保護者・地域の皆様のおかげであります。心より感謝申し上げます。また、会場が華やかになるようにと作品を提供してくださった地域の皆様、駐車場の誘導をしてくださったPTA役員の皆様もありがとうございました。

ちょっといい話 28

生き生きフェスティバルの発表までの過程で、教員は子どもが自分たちで考える場面をたくさん設定していました。タブレットで撮影して、その動画を視聴しながら改善点を出し合わせる様子を何度も見ました。その時の感想を聞いていると、「自分たちでつくりあげよう」という気持ちが伝わってきて嬉しくなるものでした。

また、1年生と2・3年生はお互い発表を見せ合いながら、感想を述べる時間を作っていました。その時に次々に手が挙がる様子を見てたいへん感心しました。セリフの言い方や声の大きさなど教師側から称賛しようとしていたことが子どもたちから出ていたのがすばらしかったです。中には「手わすらをしてなかったのがよかったです」というものもあり、その感性にほのほのした気持ちになりました。



米作りについて学ぶ



10月3日(火)、秋晴れの下、5年生が稲刈り体験をさせていただきました。

学校脇の田んぼで、田植え体験をしてから約5か月。今回も落合生産組合様にご協力いただき、まずは手刈り体験から始まりました。「指を切らないように」と注意を受けておそるおそる刈り始めましたが、やってみると「ザクッ」と稲の束が刈れて、とても楽しくなってきました。始まる前はかなりの面積と感じていましたが、子どもたちはコツをつかんであっという間に刈り終えることができました。

コンバインによる作業も見せていただきましたが、これはさすがです。機械の速さには驚くばかりでした。

その後、落合地区のライスセンターも見学させていただきました。教科書や資料集でよく見る工程ですが、実際に見学することができるというのはとてもありがたいことです。ここでも、乾燥、脱穀、選別等が最新の機械で行われていることを学ぶことができました。

教科書で紹介されている内容を実際に見たり体験したりできるという、磐梯町ならではの学びができ、たいへんありがたく思いました。ご協力くださった皆様ありがとうございました。

二小児童大活躍

この実りの秋に二小児童が各種コンクール等で続々活躍していますので、一部となりますがここで紹介します。

令和5年度磐梯町「私の主張」			
最優秀賞	5年	S.M	「自然豊かな磐梯町」
優秀賞	6年	A.H	「私が大事にしたいもの」
佳作	4年	K.H	「大好きな磐梯町」
令和5年度北会地区読書感想文コンクール			
特選(県出品)	1年	K.S	「『けんかのたね』をよんで」
特選(県出品)	3年	S.R	「『給食室のいちにち』を読んで」
特選(県出品)	4年	I.T	「『フードバンクどろぼうをつかまえる』を読んで」
令和5年度北会地区児童作文コンクール			
特選	2年	O.S	「セスジスズメを見つけたよ」
特選	4年	S.R	「自まんのばんだい町」